

地域の実情と課題

- ・令和3年度秋田市女性活躍推進企業実体調査では、本市の女性管理職の割合は、係長相当職以上で20.8%であった。
- ・秋田市人口ビジョンの「年齢階級別の人口移動の状況」では、15歳から29歳の若年層において大幅な転出超過となっており、地元への就業・就職の展望を描けず、東京圏に進学・就職している現状が示唆されている。

事業の特徴

- ・市内企業の女性管理職や中堅社員を対象に人材育成研修を実施し、職場での実践と継続的な学びにより、自己効力感を高め、女性のキャリア経験につなげる。
- ・参加者の交流を通じ、女性のリーダーとしての意識と自信を高めるとともに、企業を超えたネットワークづくりの機会とする。
- ・経営者層や管理職を対象に人材マネジメント研修を実施し、男性中心の企業風土や職場全体の意識改革を図り、女性管理職が働きやすい職場環境づくりにつなげる。

事業の効果

- ・事業目標の参加者数90人に対し、参加者は119人で達成率は132.2%であった。各コースの参加企業の約6割が新規参加となり、より多くの企業に事業周知ができています。
- ・参加者および参加企業アンケートでは、参加者の意識の変化や意欲の高まりが見られており、事業の目的である働く女性のキャリアアップ、意識の向上へとつなげることができた。
- ・人材マネジメント研修では、企業の経営幹部・管理職等から「社員が何を目的に、これからどうなりたいかを積極的に聞ける体制づくりに取り組みたい」という声が寄せられ、女性を含む従業員の働きやすい環境づくりに結びついた。

目的・目標

市内企業の女性管理職の登用拡大のため、働く女性がキャリアを積み重ね、企業や団体等の中核を担う意識を醸成するため、女性リーダー（管理職や管理職候補者）と女性中堅社員の2つコースによる人材育成研修とフォローアップを実施したほか、女性管理職が働きやすい職場環境づくりの推進として、経営者層等を対象に職場全体の意識改革を図る研修を実施した。

【目標】事業参加者数 90人⇒【実績】119人（+29人）

連携団体

「秋田市男女共生推進会議」

【構成団体】秋田県立大学、秋田商工会議所、秋田人権擁護委員協議会、一般社団法人秋田県助産師会、秋田労働局、秋田県中央男女共同参画センター（指定管理団体－NPO法人いきいきFネット秋田）、あきたF・F推進員、市内事業所ほか

今後の課題

- ・本市の女性管理職の登用拡大のため、企業の女性の登用状況や働く女性のキャリア意識等の実態を把握することが重要であり、次年度事業において検討していく。
- ・参加者アンケートでは、女性のキャリアのために必要なこととして、「職場の理解」が最も回答が多く、女性管理職が働きやすい職場環境づくりを目的とする本事業を継続し、経営者層を対象とした人材マネジメント研修を通じて企業の意識改革を推進していく必要がある。

事業の概要

ウーマンワーク・ラボ キャリアデザインセミナー

働く女性が企業や団体等の中核を担っていく意識を醸成するため、人材育成研修でキャリアアップや女性同士のネットワークづくりを図るとともに、企業等の経営幹部や管理職等を対象とした人材マネジメント研修を実施し、市内企業の女性管理職の登用促進および働きやすい環境づくりにつなげた

コース	開催日	参加者数
リーダーコース	令和5年10月12日	24人（17社）
中堅コース	令和5年10月31日	33人（21社）
人材マネジメントコース	令和5年9月26日	30人（22社）
フォローアップ講座	令和5年12月14日	32人（16社）

